

# LNGバンカリング拠点の形成

近年、国際的な船舶の排出ガス規制の強化が進展し、排出ガスのクリーンな**LNG(液化天然ガス)**を燃料とする船舶の増大が見込まれている。  
 我が国は、**世界最大のLNG輸入国**であり、**既存のLNG基地が多数立地**していることから、シンガポールと連携しつつ、**我が国においてLNGバンカリング拠点の形成を図る**。具体的には、LNGバンカリングに関する国際連携方策の検討等を行う。これにより、国際海上輸送分野における新たな市場を開拓するとともに、**我が国港湾へのコンテナ船等の寄港増を図る**。

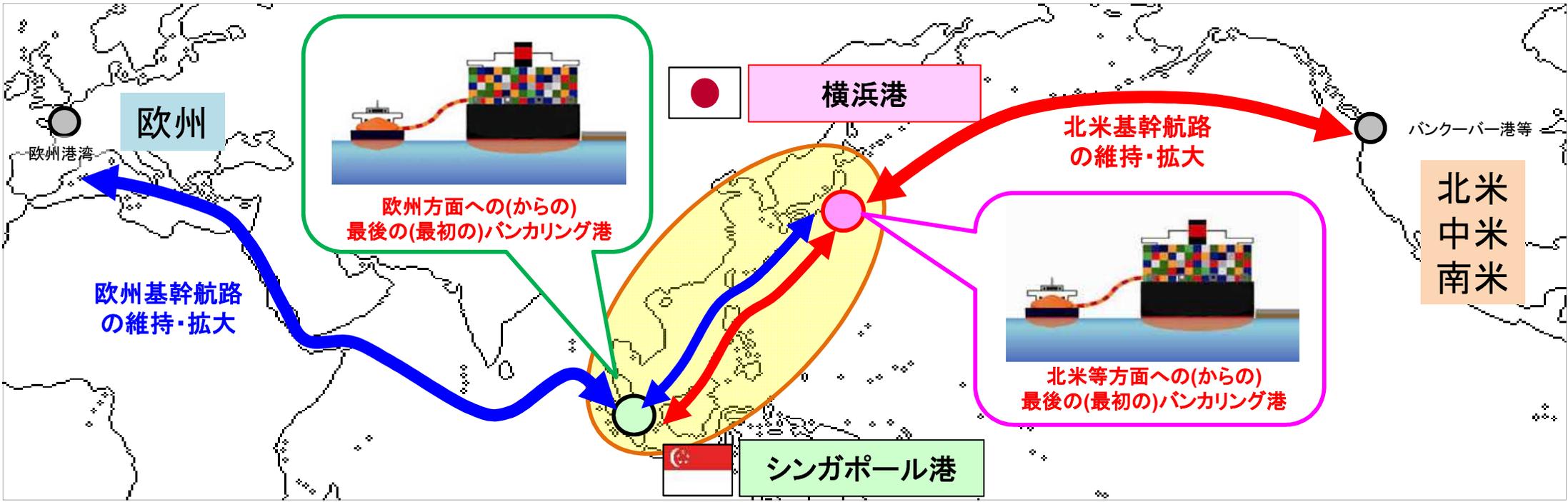
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	...	'19	'20	...	'25	...	
SO <sub>x</sub> (燃料油中の硫黄分)	4.5%	3.5%				0.5%							
	[特別海域] 1.0%		[特別海域] 0.1%										
NO <sub>x</sub> (排出量規制)	20%減					[特別海域] 80%減							
CO <sub>2</sub> (排出量規制)	平均以上	10%減		20%減		30%減							



国際的な船舶からの排出ガス規制  
 (2020年より、一般海域においてもSO<sub>x</sub>(硫黄酸化物)の規制強化が開始)

船舶用燃料の石炭から重油以来の大転換

燃料供給イメージ  
 (荷役と並行して燃料供給が可能)



横浜港とシンガポール港の国際連携によるLNGバンカリング拠点の形成(イメージ)